

# 保護者が望む保護者支援のあり方 — 幼稚園と保育所との比較 —

岸本美紀\* 武藤久枝\*\*

## 要 旨

本研究は、幼稚園の保護者の結果と保育所の保護者の結果を比較することで、両者の特徴を把握した保護者支援を検討することを目的とする。幼稚園の保護者395名と保育所の保護者360名を対象として、育児の「困り事の内容」、「相談相手」、「相談方法」について質問紙調査を実施した。その結果、「育児の困り事の内容」では、「慣れにくい」、「登園を渋る」において、幼稚園の保護者の出現率が有意に高かった。「睡眠のこと」では、保育所の保護者の出現率が有意に高かった。「相談相手」では、「夫」、「友人」、「相談方法」では、「電話」、「メール」において、幼稚園の保護者の出現率が有意に高い結果であった。以上から、施設の特徴を踏まえた保護者支援を検討する必要があると考えられる。

## Abstract

Questionnaire survey was conducted on 395 parents of kindergarteners and 360 parents of day nursery children about “the stress of child-rearing,” “advisers” and “how to consult.” In answer about “the stress of child-rearing,” “difficult adaptation” and “unwillingness to attend” were significant from kindergarteners’ parents while “Sleeping” was significant from day nursery children’ parents. In answer from kindergarteners’ parents, “husband” and “friend” were significant about “advisers” and “by the telephone” and “e-mail” were significant about “how to consult.” Accordingly, parental support should be examined considering the circumstances of each facility.

キーワード：保護者支援、幼稚園、保育所

## I. はじめに

2008年に改定された「保育所保育指針」<sup>1)</sup>では、第6章「保護者に対する支援」が設けられ、保育所に入所している子どもの保護者への支援、また地域における子育て支援の取り組みが重要な責務として位置づけられた。また、2009年に保育士養成課程の改訂があり、「保育相談支援」が必修科目として新たに設定された。つまり、保育現場と養成教育の両方の立場から、今まで以上に保育士が適切な保護者支援をできるような取り組みが求められていると考えられる。一方で、2008年に改訂された「幼稚園教育要領」<sup>2)</sup>においても、改正された「学校教育法」において教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動、いわゆる「預かり保育」が適正に位置付けられるとともに、家庭及び地域における幼児期の教育の支援が新たに規定されたことを踏まえ、

第1章総則にその基本的な考えが示してある。

以上から、幼稚園、保育所ともに、保護者への支援や家庭との連携は保育者に求められる重要な事項であり、そのことを踏まえた養成教育が求められていると考えられる。われわれは養成教育に反映させることを目指し、まず、保護者は子育てにおいてどのようなことに悩んでいるのか、また、相談しやすい相手として誰を選んでいるのか、そして、相談しやすいのはどのような手段や方法であるかを把握することを試みた(岸本・武藤、2012)<sup>3)</sup>、(岸本・武藤、2013)<sup>4)</sup>。その結果、保護者の困り事の内容、その相談相手や相談方法は、子どもの学年や性別によって有意差が認められた。

幼稚園における保護者への支援についての先行研究は、岸本・武藤(2012)<sup>3)</sup>の他に、幼稚園における相談支援活動について報告した児玉(2012)<sup>5)</sup>、幼稚園における子育て支援の利用状況に調査した荒

\* 岡崎女子大学 \*\* 中部大学

牧ら(2006)<sup>6)</sup>、文部科学省における調査(2009)<sup>7)</sup> などがある。また、保育所における保護者支援、子育て支援のあり方について検討した研究は、岸本・武藤(2013)<sup>4)</sup>、宮崎ら(2012)<sup>8)</sup>、牧野(2012)<sup>9)</sup>の他にも、日本保育協会が継続して研究<sup>10)</sup>を行うなど、そのサービスの内容や質についても検討がなされてきている。その一方で、幼稚園の保護者と保育所の保護者とを比較した研究として、保護者のニーズとその対応について幼稚園の保護者と保育所の保護者で比較した齋藤ら(2011)<sup>11)</sup>、幼稚園、保育所を公立私立と分類して保護者とのかかわりについて分析した大豆生田(2008)<sup>12)</sup>などがある。他にもベネッセ次世代育成研究所<sup>13)</sup>やソニー教育財団<sup>14)</sup>などが実施している大規模な調査があるが、両者の比較について十分検討がなされているとはいえない状況である。

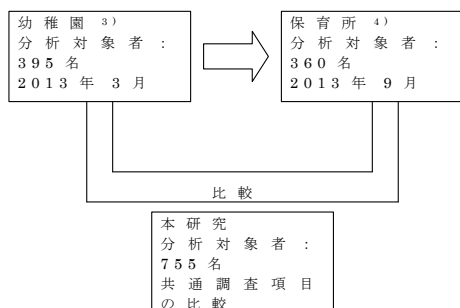
以上から、本研究では、幼稚園の保護者を対象とした岸本・武藤(2012)<sup>3)</sup>と保育所の保護者を対象とした岸本・武藤(2013)<sup>4)</sup>の保護者の子育てにおける困り事の内容、相談相手、相談方法を比較することにより、両者の保護者の特徴を把握し、保護者支援のあり方について考察することを目的とする。

## II. 研究方法

### 1. 調査概要

本研究は、過去に行った幼稚園の保護者を対象とした調査<sup>3)</sup>と保育所の保護者を対象とした調査<sup>4)</sup>を比較することを目的とする。その位置づけを図1に示す。

図1 調査の概要



### 2. 調査対象者および調査方法

#### (1) 幼稚園調査

調査時期：2012年4月配布、約3週間後の5月

18日までに回収。

調査人数：幼稚園に子どもが通っている保護者639名

詳細は、岸本・武藤(2012)<sup>3)</sup>において既に報告した。

#### (2) 保育所調査

調査時期：2013年4月配布、約1ヶ月後の5月24日までに回収。

調査人数：保育所に子どもが通っている保護者946名

詳細は、岸本・武藤(2013)<sup>4)</sup>において既に報告した。

## 3. 調査内容

調査内容は、2調査で共通である。調査票は、フェイスシートを含めた約60項目の質問で構成されている。質問項目の主な内容は、現在育児で困っている事の有無(以下、「困り事の有無」とその内容(以下、「困り事の内容」)、その相談相手(以下、「相談相手」)、および相談しやすい方法(以下、「相談方法」)等である。

## 4. 分析方法

全項目について単純集計を行った。次に、3歳児、4歳児、5歳児の保護者を対象に、施設(幼稚園・保育所)をキー項目として、「困り事の内容」「相談相手」「相談方法」をクロス項目とするクロス集計を行った。セル内5以上が出現した場合に $\chi^2$ 検定を実施した。統計解析には、SPSS(Statistical Package for the Social Science)解析ソフト(第15版 for windows)を用いた。

## 5. 倫理的配慮

調査趣旨に同意した回答者による無記名での回答である。

## III. 結果及び考察

### 1. 分析対象

期日までに回収したのは1,012名(回収率65.1%)であり、そのうち無回答などを除く942名(61.1%)を有効回答者とした。

本研究では、有効回答者の分布により、父親、祖父母と50代以降の記入が少ないこと、幼稚園と保育所の比較をするため、分析を有効に行うことから、

有効回答者のうち、「複数在園」の場合、0歳児・1歳児・2歳児の保護者、回答者が父親や祖母、祖父を除いた、母親755名(80.1%)を分析対象者とした。

分析対象者となった母親の年齢は、30代561名(74.3%)、40代122名(16.2%)、20代71名(9.4%)、10代3名(0.1%)であった。就労状況は、パートタイム就労291名(38.5%)、正規就労168名(22.3%)、未就労292名(38.7%)、その他4名(0.5%)であった。

## 2. 分析対象者の「困り事の内容」

### (1) 平均個数

分析対象者の「困り事の内容」の平均個数は2.30個(SD:±1.55)であり、その内訳は、幼稚園2.41個(SD:±1.63)、保育所2.17個(SD:±1.44)であった。

### (2) 出現率

分析対象者の子育てにおける「困り事の内容」について出現率の高い順に表1に示す。

出現率の第1位は、「食事について」181名(24.0%)であり、分析対象者の約4分の1が困っている。以下、第2位「言うことを聞かない」124名(16.4%)、第3位「しつけに関する事」119名(15.8%)、第4位「こだわりが強い」118名(15.6%)、第5位「落ち着きがない」101名(13.4%)と続く。

上位5項目の順位は、幼稚園と保育所で同じであった。

### (3) クロス集計結果

幼稚園の保護者と保育所の保護者の出現率において、有意差が認められたのは、「慣れにくい」

表1 「困り事の内容」

		数字は回答者数(%)				
		幼稚園 (母数395名)	保育所 (母数360名)	全体 (全体755名)	$\chi^2$	p
1	食事について	101(25.6)	80(22.2)	181(24.0)	1.16	-
2	言うことを聞かない	66(17.2)	56(15.6)	124(16.4)	0.38	-
3	しつけに関する事	65(16.5)	54(15.0)	119(15.8)	0.30	-
4	こだわりが強い	68(17.2)	50(13.9)	118(15.6)	1.58	-
5	落ち着きがない	54(13.7)	47(13.1)	101(13.4)	0.06	-
6	子どもの性格について	48(12.2)	47(13.1)	95(12.6)	0.14	-
7	排泄のこと	40(10.1)	47(13.1)	87(11.5)	1.59	-
8	小学校に入ってからついていけないか心配	39(9.9)	40(11.1)	79(10.5)	0.31	-
9	病気のこと	35(8.9)	39(10.8)	74(9.8)	0.83	-
10	子どもの友だち関係	39(9.9)	23(6.4)	62(8.2)	3.03	-
	習い事について	25(6.3)	37(10.3)	62(8.2)	3.90	-
12	人見知りが強い	32(8.1)	25(6.9)	57(7.5)	0.36	-
13	慣れにくい	35(8.9)	18(5.0)	53(7.0)	4.30	*
14	登園を渋る	37(9.4)	15(4.2)	52(6.9)	7.94	**
15	乱暴・手が出る	28(7.1)	21(5.8)	49(6.5)	0.49	-
16	運動が苦手	27(6.8)	15(4.2)	42(5.6)	2.55	-
17	人とかかわることが苦手	22(5.6)	13(3.6)	35(4.6)	1.63	-
	子育ての方針	19(4.8)	16(4.4)	35(4.6)	0.06	-
19	睡眠のこと	11(2.8)	21(5.8)	32(4.2)	4.31	*
20	保護者同士の関係	19(4.8)	11(3.1)	30(4.0)	1.52	-
21	言葉が聞き取りにくい	18(4.6)	8(2.2)	26(3.4)	3.09	-
22	言葉が遅い	15(3.8)	9(2.5)	24(3.2)	1.03	-
23	不器用	12(3.0)	10(2.8)	22(2.9)	0.05	-
	集団活動に参加しない	15(3.8)	7(1.9)	22(2.9)	2.29	-
25	夫婦関係について	11(2.8)	9(2.5)	20(2.6)	0.06	-
26	健康のこと	6(1.5)	10(2.8)	16(2.1)	1.44	-
27	皆と同じようにできない	10(2.5)	4(1.1)	14(1.9)		
28	家族関係について	7(1.8)	5(1.4)	12(1.6)	0.18	-
29	幼稚園・保育所のこと	6(1.5)	6(1.7)	12(1.6)	0.03	-
30	発達の遅れ	4(1.0)	5(1.4)	9(1.2)		
31	その他	37(9.4)	34(9.4)	81(9.4)	0.00	-
合計				1735(235.1)		

\*\* : p<.01 \* : p<.05 - : n. s

(幼稚園, 35名, 8.9%、保育所, 18名, 5.0%、 $\chi^2=4.30, p<.05$ )、「登園を渋る」(幼稚園, 37名, 9.4%、保育所, 15名, 4.2%、 $\chi^2=7.94, p<.01$ )、「睡眠のこと」(幼稚園, 11名, 2.8%、保育所, 21名, 5.8%、 $\chi^2=4.31, p<.05$ )であった。

「慣れにくい」については、幼稚園の保護者の出現率が有意に高かった。このことに関連して、私立幼稚園の保育者の「気になる子ども」の特徴は「場面や状況の変化に適応するのが難しい」が最も多く、約1割を占めるという報告がある(尾崎・吉川, 2009<sup>15)</sup>)。保育時間が長く生活が中心である保育所と短い保育時間の中でさまざまな活動が行われる幼稚園の役割や機能の違いが影響していることが推察されるが、「慣れにくい」ことについて、具体的な状況や場面などを具体的に把握する必要があると考える。

「登園を渋る」では、幼稚園の保護者の出現率が有意に高かった。幼稚園において入園時の不適応行動を検討した森永ら(1997)<sup>16)</sup>によると、「不安で登園をしぶる」、「泣いて嫌がる」、「親から離れられない」の保護者の比率は、保育者より高い結果であった。このような幼稚園の保護者の特徴

や保育所は3歳未満で入所する子どもが多いという特徴などの影響が考えられる。

「睡眠のこと」では、保育所の保護者の出現率が有意に高かった。保護者のニーズとその対応について、保育所と幼稚園の結果を比較した齋藤ら(2011)<sup>11)</sup>によると、保育所の出現率が有意に高かった項目に「昼寝について」があったように、昼寝を行う保育所の日課が影響しているのではなかろうか。

### 3. 分析対象者の「相談相手」

#### (1) 平均個数

分析対象者の「相談相手」の平均個数は2.27個(SD: ±1.09)であり、その内訳は幼稚園2.40個(SD: ±1.05)、保育所2.12個(SD: ±1.12)であった。

#### (2) 出現率

分析対象者の子育てにおける困り事の「相談相手」について、出現率の高い順に表2に示す。

出現率の第1位は「夫」552名(73.1%)であり、約7割以上の母親が「夫」に相談することを希望している。第2位は「実母」420名(55.6%)、第3

表2 「相談相手」

数字は回答者数(%)

		幼稚園 (母数395名)	保育所 (母数360名)	全体 (全体755名)	$\chi^2$	p
1	夫	307 (77.7)	245 (68.1)	552 (73.1)	8.95	**
2	実母	228 (57.7)	192 (53.3)	420 (55.6)	1.47	-
3	友人	202 (51.1)	139 (38.6)	341 (45.2)	11.94	**
4	きょうだい	65 (16.5)	46 (12.8)	111 (14.7)	2.03	-
5	義母	45 (11.4)	46 (12.8)	91 (12.1)	0.34	-
6	担任	44 (11.1)	33 (9.2)	77 (10.2)	0.80	-
7	実父	12 (3.0)	14 (3.9)	26 (3.4)	0.41	-
8	医師	10 (2.5)	11 (3.1)	21 (2.8)	0.19	-
9	担任以外の保育者	11 (2.8)	2 (0.6)	13 (1.7)		
10	親戚	7 (1.8)	5 (1.4)	12 (1.6)	0.18	-
11	園長・主任	4 (1.0)	8 (2.2)	12 (1.6)		
12	義父	5 (1.3)	4 (1.1)	9 (1.2)		
13	保健師	2 (0.5)	3 (0.8)	5 (0.7)		
14	カウンセラー	0 (0.0)	4 (1.1)	4 (0.5)		
15	看護師	0 (0.0)	3 (0.8)	3 (0.4)		
16	その他	6 (1.5)	8 (2.2)	14 (1.9)	0.51	-
17	誰にも相談しない	5 (1.3)	11 (3.1)	16 (2.1)	2.91	-
合計				1727 (228.8)		

\*\* : p<.01 \* : p<.05 - : n. s.

位「友人」341名(45.2%)、第4位「きょうだい」111名(14.7%)、第5位「義母」91名(12.1%)と続く。第3位までの「夫」、「実母」、「友人」の割合の大きさが理解できる。「担任」は、77名(10.2%)で第6位であった。

上位5項目については、幼稚園と保育所とではほぼ同じであった。

### (3) クロス集計結果

幼稚園の保護者と保育所の保護者の出現率において、有意差が認められたのは、「夫」(幼稚園, 307名, 77.7%、保育所, 245名, 68.1%、 $\chi^2=8.95, p<.01$ )、「友人」(幼稚園, 202名, 51.1%、保育所, 139名, 38.6%、 $\chi^2=11.94, p<.01$ )であった。

「夫」については、幼稚園の保護者の出現率が有意に高かった。名古屋市のひとり親家庭を対象とした調査(2003)<sup>17)</sup>では、母子家庭の子ども73.2%、父子家庭の子ども52.3%が保育所に入所しているという結果であった。このような保育所におけるひとり親家庭の割合の高さが影響していると推察される。

「友人」については、幼稚園の保護者の出現率が有意に高かった。今回の調査では、幼稚園の保護者の正規とパートの就労率が28.7%に対し、保育所の保護者では96.1%であった。また、就労している保育所の保護者の41.7%が正規就労であったことから、友人と交流を持ちにくい状況がうかがえる。

## 4. 分析対象者の「相談方法」

### (1) 平均個数

分析対象者の「相談方法」の平均個数は1.58個(SD: ±.78)であり、その内訳は幼稚園1.65個(SD: ±.80)、保育所1.51個(SD: ±.75)であった。

### (2) 出現率

分析対象者の子育てにおける困り事の「相談方法」について、出現率の高い順に表3に示す。

出現率の第1位は「直接会って話す」683名(90.5%)であり、約9割の母親が希望している。第2位「電話」256名(33.9%)、第3位「メール」219名(29.0%)、第4位「フェイスブック」14名(1.9%)、第5位「チャット」10名(1.3%)と続く。

上位3項目の占める割合が高い傾向は、幼稚園と保育所で同じであった。

### (3) クロス集計結果

幼稚園の保護者と保育所の保護者の出現率において、有意差が認められたのは、「電話」(幼稚園, 147名, 37.2%、保育所, 109名, 30.3%、 $\chi^2=4.05, p<.05$ )、「メール」(幼稚園, 132名, 33.4%、保育所, 87名, 24.2%、 $\chi^2=7.83, p<.01$ )であった。

「電話」については、幼稚園の保護者の出現率が有意に高かった。

「メール」については、幼稚園の保護者の出現率が有意に高かった。

出現率第1位の「直接会って話す」では、保育所の保護者も約9割を占めていることから、9割以

表3 「相談方法」

数字は回答者数(%)

		幼稚園 (母数395名)	保育所 (母数360名)	全体 (全体755名)	$\chi^2$	p
1	直接会って話す	355(89.9)	328(91.1)	683(90.5)	0.33	-
2	電話	147(37.2)	109(30.3)	256(33.9)	4.05	*
3	メール	132(33.4)	87(24.2)	219(29.0)	7.83	**
4	フェイスブック	3(0.8)	11(3.1)	14(1.9)		
5	チャット	5(1.3)	5(1.4)	10(1.3)	0.02	-
6	ツイッター	3(0.8)	0(0.0)	3(0.4)		
7	ラジオ	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		
8	その他	6(1.5)	3(0.8)	9(1.2)		
合計				1194(158.2)		

\*\* : p<.01 \* : p<.05 - : n.s.

上の保護者が就労している保育所では、「直接会って話す」ことの重要性が考えられる。

#### IV. まとめと今後の課題

本研究から、育児に関する「困り事の内容」、「相談相手」、「相談方法」について、幼稚園の保護者と保育所の保護者において有意な差が認められた項目があった。

「困り事の内容」では、「慣れにくい」、「登園を渋る」では、幼稚園の保護者の出現率が有意に高かった。一方、「睡眠のこと」は、保育所の保護者の出現率が有意に高い結果となった。「相談相手」における「夫」、「友人」、また、「相談方法」における「電話」、「メール」では、幼稚園の保護者の出現率が有意に高い結果であった。

これらのことから、園・施設の機能や役割の違いによる保護者の特徴や実態に合わせた保護者支援を行う必要性が理解できた。

今後は、結果を反映させた養成教育について、より具体的な検討を試みたいと考える。

#### 付記

本研究にあたり、ご協力いただきました幼稚園、保育所の保護者、職員の皆様に深く感謝いたします。

#### 引用文献

- 1) 厚生労働省. 保育所保育指針. 平成20年度版
- 2) 文部科学省. 幼稚園教育要領. 平成20年度版
- 3) 岸本美紀・武藤久枝(2013). 幼稚園における保護者支援のあり方の検討—保護者が抱える子育ての困り事の分析から—. 中部大学現代教育学研究紀要, 6. pp15-21.
- 4) 岸本美紀・武藤久枝(2013). 保育所保護者の困り事と相談についての意識調査. 全国保育士養成協議会第52回研究大会研究発表論文集. pp310-311.
- 5) 児玉陽子(2012). 幼稚園における相談支援活動に関する考察—保護者の不安と子育て支援—. 大阪芸術大学短期大学部紀要, 36. pp61-79.
- 6) 荒牧美佐子・安藤智子・岩藤裕美・丹羽さかの・立石陽子・砂上史子・掘越紀香・無藤隆(2006). 幼稚園における子育て支援の利用状況(第2報).

お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター紀要, 3. pp9-16.

- 7) 文部科学省ホームページ. 重要対象分野に関する評価書—少子化社会対策に関連する子育て支援サービス.  
([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/hyoka/kekka/08100102/010.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/hyoka/kekka/08100102/010.htm)) (2012年8月27日)
- 8) 宮崎つた子・梶美保(2012). 保育所における保護者支援のあり方に関する一考察. 高田短期大学紀要, 30. pp131-139.
- 9) 牧野桂一(2012). 保育現場における子育て相談と保護者支援のあり方. 筑紫女学園大学短期大学部紀要, 7. pp179-191.
- 10) 日本保育協会ホームページ.  
(<http://www.nippo.or.jp/research/>) (2013年8月24日)
- 11) 齋藤幸子・須永進・青木知史・山屋春恵(2011). 保護者のニーズとその対応—保育所と幼稚園における調査結果の比較—. 日本子ども家庭総合研究所紀要, 47. pp329-336.
- 12) 大豆生田啓友(2008). 幼稚園・保育所における親とのかかわりに関する調査—種別の違いに着目して—. 関東学院大学人間環境学会紀要, 9. pp51-66.
- 13) ベネッセ教育総合研究所(2008). 第3回子育て生活基本調査(幼児版).
- 14) ソニー教育財団(2009). 公立・私立、幼稚園・保育所(園)の園長・担任・保護者を対象とした「保育に関する意識調査」報告書.
- 15) 尾崎啓子・吉川はる奈(2009). 私立幼稚園における「気になる子ども」の保育の困難さに関する調査研究—自由記述の分析を中心として—. 埼玉大学紀要 教育学部, 58(2). pp197-204.
- 16) 森永良子・林洋一・田村和子・前典子(1997). 幼児期の問題行動・心身症の経過—入園時の不適応行動の検討—. 平成9年度厚生省心身障害研究効果的な親子のメンタルヘルスケアに関する研究. pp129-136.
- 17) 名古屋市ホームページ. ひとり親家庭等自立支援計画(案)第2章ひとり親家庭の状況(市政情報)  
(<http://www.city.nagoya.jp/kodomoseishon/en/page/0000002435.html>) (2013年11月5日)



(3) (2) でご回答いただいた悩みについてのご相談相手をお聞かせ下さい (3つまで○)

- |                                   |                                    |                                |
|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 夫または妻    | <input type="checkbox"/> 実母        | <input type="checkbox"/> 実父    |
| <input type="checkbox"/> 義母       | <input type="checkbox"/> 義父        | <input type="checkbox"/> きょうだい |
| <input type="checkbox"/> 親戚       | <input type="checkbox"/> 友人        | <input type="checkbox"/> 担任    |
| <input type="checkbox"/> 園長・主任    | <input type="checkbox"/> 幼稚園以外の保育者 | <input type="checkbox"/> 保健師   |
| <input type="checkbox"/> カウンセラー   | <input type="checkbox"/> 医師        | <input type="checkbox"/> 看護師   |
| <input type="checkbox"/> 誰にも相談しない | <input type="checkbox"/> その他 (     | )                              |

(4) 子育てについてあなたの相談しやすい方法をお聞かせください (3つまで○)

- |                                  |                                  |                              |                               |
|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 直接会って話す | <input type="checkbox"/> 電話      | <input type="checkbox"/> メール | <input type="checkbox"/> チャット |
| <input type="checkbox"/> ツイッター   | <input type="checkbox"/> フェイスブック | <input type="checkbox"/> ラジオ |                               |
| <input type="checkbox"/> その他 (   |                                  |                              | )                             |

(5) 子育て相談についての感想やお考えをご自由にお聞かせください。

【3】 保育者を目指す学生が「保護者の方々への支援の在り方」を学ぶためにはどのような教育をすれば良いのかについて、ご意見をご自由にお聞かせください。岡崎女子短期大学での学生教育の参考にさせていただきます。

◎ご協力、心より感謝いたします。